

令和7年度事業報告及び決算報告等について

I 令和7年度事業報告

第1 概 況

本道の酪農・畜産は、経営者の高齢化や後継者不足による農家戸数の減少、労働力不足、変動する国際情勢への対応、海外悪性伝染病に対する防疫体制の強化、自然災害への備えなどが課題となっている。

また、気候変動による世界的な食料生産の不安定化、世界的な食料需要の拡大による食料調達の激化、輸入食品原材料の価格高騰、化学肥料原料の輸出規制などにより、我が国の食料安全保障の強化が課題となっている。

令和7年の本道農業は、農作物は、総じて平年並みの出来となったが、6月から8月にかけて記録的な高温となり、一部の農作物で収量や品質への影響があった。

1番牧草は、収量・品質は良好だったが、2番牧草は、高温、干ばつにより、収量・品質に影響があった地域があり、デントコーンは、釧路・根室地域で、収穫前の強風、線状降水帯の発生による圃場の冠水、倒伏があった。

酪農・畜産の状況は、酪農は、乳価が引き上げられ、初生牛などの個体価格が堅調に推移し、経営状況は改善の兆しが見えてきたが、生産資材価格の高止まり、牛乳乳製品の消費低迷は続いた。

肉用牛は、和牛の子牛価格は堅調に推移したが、物価高による牛肉消費の低迷、和牛枝肉価格の低迷が続き、肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）が交付された。

令和9年8月に開催される第13回全国和牛能力共進会北海道大会については、7年10月から実行委員会事務局専用の事務所を設置し、酪農畜産協会、道、中央会、ホクレンの職員が常駐し、会場設営、大会・式典運営、交通輸送などの実施計画の作成や大会PRなどに取組んだ。

こうした中、本協会としては、本道の酪農・畜産の経営の安定と生産基盤の強化を図るため、経営改善指導事業をはじめ、家畜の登録改良事業、畜産クラスター事業、機械施設リース事業、肉用牛肥育経営安定交付金の交付事業、第13回全国和牛能力共進会北海道大会に向けた準備業務、実行委員会の運営などについて、関係機関・団体と連携を図りながら推進した。

第2 事業の実施状況

1 経営改善指導事業

活力のある安定した畜産経営を育成・確立するため、経営診断の実施、研修会の開催及び各種情報提供等による経営改善指導を行った。

(1) 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会/補助73,903千円）

畜産の担い手育成・確保に向けた体制の整備・強化を図り、各般の畜産振興対策の効果的推進を行った。

(2) 強い農業づくり事業：酪農経営体質強化（北海道/補助 1,000 千円）

公社営農場リース事業を活用した新規就農者等について、その経営が計画性をもって担い手として定着できるよう、経営状況の調査及び診断を行った。

経営診断・分析支援 10 件

(3) 畜産経営診断指導事業（農協・生産者/6,355 千円）

畜産経営の改善を図るため、経営分析・診断を行い、農協等と連携して効果的な指導を実施した。

・簡易分析	42 農協	1,786 戸
・総合診断	19 農協	48 件
・フォローアップ	1 件	
・シミュレーション	4 件	
・モニタリング	7 件	

(4) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会/補助 48,556 千円）

畜産特別資金及び畜産経営維持緊急支援資金の借受者に対する経営改善指導のため、関係機関団体と連携して、借受者に対する計画作成指導、計画達成指導を実施した。また、融資機関等の指導体制確立のための支援指導を行った。

① 都道府県支援協議会の開催

・協議会活動の企画・調整等	5 回
・経営事例調査・状況把握	69 件

② 融資機関への指導・助言

・研修会等	6 箇所（札幌、帯広、釧路、上川、オホーツク）
・巡回指導	1 地域、2 箇所（渡島）
・中央現地調査	2 地域、4 箇所（釧路、根室）

③ 経営改善計画作成・見直し及び達成指導

・計画作成指導等	17 件
・濃密指導（月次モニタリング）	10 件
・酪肉支援資金に係る支援	5 件

(5) 地域畜産支援指導等体制強化事業[相談窓口]（中央畜産会/委託 2,500 千円）

畜産経営の課題解決を図るため経営相談窓口を設置した他、関係機関が主催する会議等に参加し、そこで得た知見等を生産者等に普及・伝達を行った。

2 畜産生産振興事業

畜産の生産振興及び生産基盤の強化に資するため、次の事業を行った。

(1) 強い農業づくり事業：和牛産地確立推進

（北海道・ホクレン・ジェネティクス北海道他/補助他 32,244 千円）

北海道和牛の産地ブランド確立のため、生産者をはじめ、関係機関・団体が一体となり、優良繁殖雌牛の選抜・保留や次世代種雄牛の造成、道内肥育の推進など、北海道和牛の生産基盤強化を図る取組みに対し支援を行った。

① 和牛繁殖基盤造成			
・ゲノム育種価評価	600 頭	13 集団	5,000 円/頭
・現地検討会	1 回		
② 育種改良組織等の活動強化			
・エリート牛造成改良促進		1 集団	400,000 円
・現地検討会	1 回		
③ 高能力繁殖雌牛活用推進			
・高能力繁殖雌牛認定	37 頭		
・ゲノム育種価評価	9 頭		8,250 円/頭
・育種牛認定	14 頭		100,000 円/頭
・優良繁殖雌牛実証展示	388 頭		15,000 円/頭
・優良繁殖雌牛保留奨励	44 頭		50,000 円/頭
④ 和牛指導者育成対策			
・和牛マスター担い手研修	3 回		
⑤ 肉用牛生産振興対策早期肥育技術実証			
・早期肥育データ収集協力金	62 頭		100,000 円/頭
・SNP 解析等	391 頭		
・研修会の開催	1 回		
⑥ 道内肥育推進対策			
・道内出荷流通拡大奨励	240 頭		50,000 円/頭
⑦ 新規種雄牛早期市場評価推進対策			
・早期市場評価奨励	51 頭		30,000 円/頭
⑧ 枝肉改良共同研究			
・枝肉横断面における脂肪交雑形状の指標評価・活用法の開発			帯広畜産大学
・肥育牛の早期出荷に適した育種価評価法と育成・肥育技術			畜産試験場
⑨ 肉用牛生産振興対策ブランド創出推進			
・北海道和牛ブランド推進協議会 総会		1 回	
・北海道和牛ブランド推進協議会 役員会		2 回	
・北海道和牛ブランド推進協議会 PR 活動		5 回	

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構/補助 27,578 千円）

① 肉用牛生産基盤強化対策

生産者集団等が行う生産基盤強化に資する取組みに対し支援を行った。

- ・肉用牛ヘルパー活動に対する助成（1/2 以内） 10 利用組合
- ・簡易牛舎等の整備に対する助成（1/2 以内） 6 団体

② 地域の特色ある肉用牛振興対策

生産者集団等が行う地方特定品種の生産基盤の維持強化等への取組みに対し支援を行った。

- ・褐毛和種の肥育牛計画出荷に対する助成 119 頭 700 円/日・頭
- ・離島子牛の島外家畜市場出荷に対する助成 69 頭 7,400 円/頭
- ・日本短角種経営の自給飼料生産資材等に対する助成 1 生産者集団

(3) 肉用牛経営災害緊急支援対策事業（農畜産業振興機構/補助 4,319 千円）

対象災害の発生時に牛舎等の補改修、飲料水等の確保について支援を行った。

- ・牛舎等の補改修等 4 戸
- ・飲料水等の確保支援 3 戸

(4) 国産食肉等新需要創出緊急対策事業（農畜産業振興機構・北海道他/補助他 4,835 千円）

畜産農家の経営安定と消費者の嗜好の多様化に対応した国産食肉等の生産に資するため、北海道産牛肉（乳用種・交雑種）の商品価値に着目した取組みを行った。

- ・協議会の開催 2 回
- ・PR資料の作成 28,000 部
- ・展示商談会への出展 1 回

(5) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業：優良繁殖雌牛更新加速化事業

（全国肉用牛振興基金協会/委託 6,824 千円）

畜産クラスター計画に基づき、高齢の和牛繁殖雌牛から優良な若い和牛繁殖雌牛に更新した生産者に対して奨励金を交付する事業の推進業務を行った。

取組主体 65 農協等 補助金額 126,320 千円

(6) 乳用牛長命連産性等向上緊急支援事業（中央酪農会議/委託 10,849 千円）

長命連産性に重きを置いた強健な乳用牛へ牛群構成の転換を図り、持続的な酪農経営への移行を支援する事業の推進業務を行った。

取組主体 90 農協 補助金額 2,360,583 千円

(7) 肉牛改良推進事業

和牛改良を推進するため、道内の黒毛和種のデータを分析し、育種改良及び繁殖管理の改善を目的とした指導及び情報提供のほか、道内で収集された枝肉情報と全国枝肉データベース事業による枝肉情報を用いて育種価を算定し、繁殖成績における分娩間隔の育種価と併せて、関係団体及び生産者への情報提供を行った。

また、優良な家畜の展示評価並びに肉牛の枝肉展示評価を通じて、飼養管理技術や改良増殖技術の向上を図るため、共進会・共励会の後援や協賛を行うとともに、本道の特色ある雌牛集団の形成や改良に対する普及啓発を行った。

① 肉牛改良推進のための研修会等の開催

- ・和牛技術研修会 15 回
- ・和牛振興推進会議 1 回
- ・和牛振興委員研修会（札幌） 1 回
- ・和牛生産農家後継者研修会（札幌） 1 回
- ・和牛女性部研修会（札幌） 1 回
- ・畜産関係新技術発表会 1 回
- ・和牛振興研修会 2 回
- ・和牛改良専門委員会 1 回

② 産肉能力育種価評価の実施と公表（6 形質・オレイン酸・新細かさ指数） 2 回

③ 家畜生体肉質装置を用いた肉質診断	随時
④ 家畜共進会、肉牛枝肉共励会の審査・後援・協賛等	56回
⑤ 全国和牛登録協会主催の産肉能力検定事業の立会	3回
⑥ 家畜改良事業団現場後代検定種雄牛枝肉調査の立会	10回
⑦ ジェネティクス北海道現場後代検定種雄牛産子及び枝肉調査	20回
⑧ 和牛育種事業強化支援の実施（びらとり和牛育種組合・十勝和牛育種組合）	
⑨ 和牛経営定点調査の実施	24戸
⑩ 北海道ゲノム育種価事業の実施	1,069頭
⑪ 協会のホームページによる肉牛改良情報の提供 ・繁殖台帳、繁殖牛情報、種雄牛情報、血統情報、育種価情報、ゲノム情報等	

(8) 第13回全国和牛能力共進会事業

令和9年に北海道で開催する第13回全国和牛能力共進会において、日頃の改良の成果を展示し、北海道の種牛や肉牛を全国にPRするとともに、道内の飼養管理技術の向上や肉牛の生産基盤の強化を図るための取組みを行った。

- ① 出品対策部会 1回
- ② 出品会議 2回
- ③ 早期肥育研修会 1回
- ④ 枝肉勉強会 2回

(9) 第13回全国和牛能力共進会実行委員会

令和9年に北海道で開催する第13回全国和牛能力共進会の実行委員会の運営に係る業務を実施するとともに、大会開催準備に向けた取組みを行った。

- ・実行委員会の開催（北海道ほか33団体） 3回（うち2回は書面開催）
- ・実行委員会幹事会の開催（北海道ほか16団体） 4回（うち1回は書面開催）
- ・専門部会の開催 12回（総務企画部会5回、会場設営部会3回、衛生部会3回、出品対策部会1回）

（取組み（実績））

- ・実施計画の決定（「催事・出展・協賛実施計画」「広報」）
- ・実施計画の作成（「会場設営」「大会・式典運営」「交通輸送」）
- ・市町村、JA、道内畜産関係団体への協力金募集依頼
- ・企業等への出展・協賛募集準備（リスト作成、依頼書作成など）
- ・広報活動及び気運醸成対策として、
ホームページ、SNS、機関誌等による情報発信
道内外でのイベント等でのPR（パネル展示、ポスター、ティッシュ、シール配布）
地元音更町、帯広市、十勝総合振興局庁舎の懸垂幕、看板等設置
マスコットキャラクター着ぐるみ作成及び各地でのイベント参加
マスコットキャラクター名称の決定などの取組みを行った



マスコットキャラクター「和ぎゅりー」

(10) めん羊登録改良事業

めん羊の血統登録を実施し、品種の証明及び育種改良を推進するとともに、出生確認証明を発行することにより個体識別を促進し、円滑な改良・増殖を推進した。

[登録・証明件数]

(単位：件・%)

区 分	登 録		証 明
	血 統	予 備	出 生
件 数	401	35	1,104
前年度対比	120.4	40.7	101.5

(11) 酪農畜産関係組織の事務局の運営

生産振興・消費拡大・ブランド化の推進等のため、畜産生産者等が組織した各種協議会の事務局を担当し、生産者の支援を行った。

① 北海道和牛振興協議会

黒毛和種の生産者で構成され、和牛の改良増殖、生産基盤の充実と経営安定に資する各種の活動を行った。

② 北海道和牛生産戦略会議

本道における和牛の産地形成の確立と生産振興の効果的な推進を図るため、道内関係者と連携を図りながら和牛振興への取組みを行った。

③ 北海道肉用牛生産者協議会

肉牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、肉牛の振興に資する各種の活動を行った。

④ 北海道産牛肉消費拡大強化対策実行委員会

道内の肉牛生産者自らが取組む道産牛肉消費拡大事業に、関係機関と連携し積極的に支援を行った。

⑤ 北海道あか牛振興協議会

あか牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道におけるあか牛の生産振興に資する取組みを行った。

⑥ 北海道短角牛振興協議会

日本短角種を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道における日本短角種の生産振興に資する取組みを行った。

⑦ 北海道めん羊協議会

めん羊を飼養する者、賛同する個人で構成され、北海道におけるめん羊の生産振興に資する取組みを行った。

⑧ 北海道養鶏会議

鶏を飼養する者、賛同する企業及び団体等で構成され、北海道における養鶏の生産振興に資する取組みを行った。

⑨ 北海道畜産技術連盟

道内の関係機関・団体と連携を図りながら、畜産技術の普及啓発のために畜産関係新技術情報冊子作成などの取組みを行った。

⑩ 北海道地方公営競馬振興協議会

地方競馬主催者と連携を取りながら、地方競馬と馬事畜産の振興及び普及啓発を図るための支援を行った。

⑪ 北海道自給飼料改善協議会

自給飼料基盤に立脚した酪農畜産経営を推進するための研修会を開催した。

⑫ 第13回全国和牛能力共進会北海道実行委員会

令和9年に開催予定の第13回全国和牛能力共進会北海道大会の開催に係る準備活動を行った。

⑬ 北海道和牛ブランド推進協議会

生産者と流通関係者が一体となって、北海道和牛のブランド確立と全国有数の和牛産地としての地位を確立するための活動を行った。

3 補填金交付等事業

肉用牛肥育経営の安定を図るため、次の事業を行った。

肉用牛肥育経営安定交付金：牛マルキン（農畜産業振興機構/委託他 115,741千円）

肥育牛契約生産者の負担金により基金を造成し、牛枝肉価格等の変動によって肥育牛経営の収支が悪化した時に粗収益と生産費の差額に対して、農畜産業振興機構からの交付金と併せて補填を行った。

積立金造成及び交付金交付状況

①-1 生産者負担金単価（単位：円）

品種区分	令和7年度
肉専用種	28,000
交雑種	17,000
乳用種	18,000

①-2 積立金造成実績（単位：円）

品種区分	積立金造成額		計
	生産者負担金	運用益	
肉専用種	1,527,783,248	1,915,588	1,529,698,836
交雑種	1,561,348,000	2,384,733	1,563,732,733
乳用種	1,549,890,000	1,724,328	1,551,614,328
合計	4,639,021,248	6,024,649	4,645,045,897

※令和7年4月から令和8年3月造成分

②-1 交付金単価 [令和7年4月～令和8年3月販売分]

(単位：円)

品種区分	販売年月 (交付は販売の翌々月)					
	R7.4	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9
肉専用種	22,460	19,521	75,205	43,834	76,989	66,069
交雑種	—	—	6,866	—	7,277	10,432
乳用種	21,422	29,549	27,264	41,716	33,453	33,977

品種区分	販売年月 (交付は販売の翌々月)					
	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2	R8.3
肉専用種	58,544	—	—	26,382	—	—
交雑種	—	—	—	—	—	—
乳用種	9,699	24,517	64,852	37,195	30,357	28,743

※令和7年4月から令和8年3月販売分

②-2 交付金交付状況

(単位：頭・円)

品種区分	対象頭数	交付金額		計
		生産者負担金	交付金(国費)	
肉専用種	26,239	312,860,533	938,579,693	1,251,440,226
交雑種	16,960	34,850,586	104,551,268	139,401,854
乳用種	62,773	495,240,701	1,485,720,609	1,980,961,310
合計	105,972	842,951,820	2,528,851,570	3,371,803,390

※R7.4(概算)～R8.1(概算)販売分

③ 積立金残高

(単位：円)

品種区分	期首 (R7.4.1) ①	積立金造成額 ②	交付金額 (生産者負担金) ③	積立金残高 (R8.3.31) ①+②-③
肉専用種	0	1,529,698,836	312,860,533	1,216,838,303
交雑種	0	1,563,732,733	34,850,586	1,528,882,147
乳用種	0	1,551,614,328	495,240,701	1,056,373,627
合計	0	4,645,045,897	842,951,820	3,802,094,077

4 普及啓発推進事業

消費者の畜産に対する理解の促進や畜産物の消費拡大を図るため、PR活動を行った。

地域畜産支援指導等体制強化事業[地方競馬] (中央畜産会/委託 600千円)

地方競馬の振興に資するため、本協会や北海道地方公営競馬振興協議会が主催する競馬ファン対策イベントに対する支援を行った。

イベント支援 1回(日高)
2回(帯広)

5 肉牛登録推進事業

子牛登記・登録を実施することにより、正確な血統を証明し、品種としての信頼性の向上を図るとともに、地域和牛集団の確立を推進した。

また、生産者の登録審査の意義に対する理解を深め、生産基盤の充実強化を図るため、地域技術員の審査技術の指導を行った。

[登記・登録件数]

(単位：件・%)

区 分		子牛登記	登 録
黒毛和種	件 数	75,277	7,499
	前年度対比	93.2	89.0
褐毛和種	件 数	362	64
	前年度対比	105.5	104.9
日本短角種	件 数	223	69
	前年度対比	101.8	153.3
外国種	件 数	28	21
	前年度対比	68.3	105.0

[登録審査員の養成及び技術向上]

登記・地方審査委員合同研修会	1回
登記検査委員資格認定研修会	3回
和牛登録専門委員会	1回
新任畜産技術員研修会	1回
中堅技術員研修会	1回
登録窓口担当者会議	1回
登録実務者研修会	4回

6 機械施設リース事業

酪農畜産経営の体質強化に資するため、施設・機械の借受、貸付を実施した。

[取扱実績]

(単位：台・千円・%)

区 分		台 数	金 額	前年度対比 (金額)
協会有リース	・新品バルククーラー他	0	0	0.0
畜産近代化リース	・自給飼料生産利用機械施設 ・生乳生産合理化施設 ・畜産環境改善機械施設他	19	198,227	88.9
畜産環境整備機構	・経営リース他	0	0	—
合 計		19	198,227	86.8

7 受託事業等

関係機関・団体からの受託等により、畜産に係る調査業務等を行った。

(1) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業：機械導入（中央畜産会/補助 50,948 千円）

畜産クラスター計画に基づき、地域の関係者が連携して地域全体の収益力向上を図るため、畜産経営体のコスト削減や収益力向上等に資する機械の導入に対し支援を行った。

配分件数 77 協議会 補助金額 8,398,998 千円

(2) ICT化等機械装置等導入事業：畜産ICT（中央畜産会/委託 5,024 千円）

酪農経営や畜産経営の労働負担軽減・省力化に資する機械装置の導入を支援する事業の推進業務を行った。

実績件数 31 会議 補助金額 271,352 千円

(3) 酪農労働省力化対策事業：楽酪GO（中央畜産会/委託 6,680 千円）

酪農経営における労働負担軽減・省力化に資する機械装置の導入及びそれと一体的な施設の整備等を支援する事業の推進業務を行った。

実績件数 16 会議 補助金額 310,797 千円

(4) クラスター全国実態調査事業（中央畜産会/委託 6,000 千円）

畜産クラスターに係る取組みを全国で推進するため、先進的な経営等を対象に経営調査を行った。

調査件数 60 件

(5) 課題解決サポート調査事業（中央畜産会/委託 2,860 千円）

日本政策金融公庫による農家への資金融資等に係る農家の経営計画作成、経営課題の把握や解決策の提案などを行った。

実施件数 16 件

(6) 軽種馬経営実態調査事業（中央畜産会/委託 1,741 千円）

軽種馬の生産振興に資するため、軽種馬経営における販売産駒1頭当たりの生産費用等の調査を行った。

調査件数 10 件

(7) 生産技術情報提供事業（中央畜産会/委託 6,675 千円）

家畜の生産力を最大限に発揮させるため、家畜生産性に係るデータの収集及び畜産経営体の技術成績における課題改善指導を行った。

酪農経営 75 戸

(8) 経営指導技術向上事業：研修派遣（中央畜産会/委託 976 千円）

畜産経営支援指導のスキルの習得・向上を目的として、職員の育成に必要な研修会に職員を派遣した。

派遣件数 20 件

(9) 畜産経営高度化指導推進事業（中央畜産会/委託 2,736 千円）

経営指導実践に資するモデル経営設計指標及び経営指導力向上のための畜産 e ラーニングプログラムを作成するため、競争力の高い畜産経営モデルの経営調査を行った。

調査件数 19 件

- (10) 動産担保融資支援事業（日本政策金融公庫・生産者/委託他 7,600 千円）

日本政策金融公庫等金融機関、十勝畜産農業協同組合等と締結した「ABL 協定」に基づき、肉用牛及び乳用牛の動産を担保に金融機関から運転資金の融資を受けた農家について、飼養牛のモニタリングを行った。

モニタリング 15 件

- (11) 地域連携支援事業（日本政策金融公庫/委託 300 千円）

公庫資金等支援ニーズを把握するため、道内の酪農における最新の経営状況、生産状況及び経営課題について調査した。

調査 1,786 件

- (12) 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業（日本草地畜産種子協会/委託 10,942 千円）

飼料作物の生産性向上を図るため、草地診断の実施、難防除雑草駆除技術等の現地実証を進める事業の推進を行った。

実績件数 47 地区 補助金額 724,674 千円

- (13) 畜産近代化リース貸付指導等事業（畜産近代化リース協会/委託 3,090 千円）

畜産近代化リース事業による貸付機械の適切な管理を図るため、現地調査指導を行った。また、農協等に対し同事業の普及啓発を図るため、新規開拓調査を行った。

調査指導 22 基

新規開拓調査 9 農協等

- (14) 地域経済状況調査事業（北海道農業公社/委託 4,147 千円）

酪農経営等の経済状況等の調査を行い、地域・規模別の経営類型資料を作成した。

調査地域 5 地域

- (15) 自給飼料改善指導事業（ホクレン・北海道農業公社・雪印種苗/負担金 1,140 千円）

近年の草地等における様々な課題に取り組むため、関係団体により設置した「北海道自給飼料改善協議会」の事務局として、自給飼料基盤の向上及び改善のための研修会等を開催した。

自給飼料生産優良事例・研究成果発表会の開催 1 回

- (16) 畜産物輸出対応生産円滑化事業（日本畜産物輸出促進協会/委託 1,000 千円）

畜産物輸出に対する生産者の理解醸成、意識向上を目的として、輸出相談窓口の設置・運営及び生産者に対する普及・啓発を行った。

輸出相談 PR ブース設置 1 件

普及・啓発件数 6 件

8 北農ビル管理運営事業

北農ビルの一部所有者として、北農ビルの管理運営を行った。

第3 会議等の開催

1 総 会

令和7年度 通常総会 — 原案どおり議決 — 令和7年 6月 26日

〔議 事〕

議案第1号 令和6年度事業報告及び決算報告等について

議案第2号 令和7年度役員報酬について

議案第3号 令和7年度会費負担額及び納入について

議案第4号 役員相互選について

報告事項 令和7年度事業計画及び収支予算について

2 理 事 会 議決事項及び報告事項

〔第1回〕 — 原案どおり議決 — 令和7年 6月 11日

① 令和7年度通常総会付議事項について

② 令和7年度通常総会の開催について

〔第2回〕 — 原案どおり議決 — 令和7年 6月 26日

役付理事の互選について

〔第3回〕 令和7年 11月 17日

① 報告事項 事業の実施状況等について〔4月～10月〕

② 理事の辞任について

〔第4回〕 — 原案どおり議決 — 令和8年 3月 24日

令和8年度事業計画及び収支予算について

3 専門委員会

家畜登録改良事業 和牛登録専門委員会 令和7年 12月 15日

① (公社)全国和牛登録協会通常総会報告について

② (一社)北海道酪農畜産協会登録事業について

③ 第13回全国和牛能力共進会北海道大会開催について

家畜登録改良事業 和牛改良専門委員会 令和8年 2月 26日

① 北海道の和牛改良の推進状況及び検討課題

② 北海道和牛改良推進目標の改定

③ 北海道推奨種雄牛について

④ 全国和牛能力共進会について

4 監 査

〔監事監査〕

令和7年6月4日、5日

令和7年度監事監査（令和6年度決算分）

〔内部監査〕

総務部

第1回 令和7年7月29日、30日

第2回 令和8年1月27日、28日

第4 会員及び役職員数

〔会 員〕

項 目	6年度 期 末	7年度		7年度 期 末
		増	減	
会 員	206	—	1	205
団 体	54	—	—	54
農 協	83	—	—	83
市町村	69	—	1	68

〔役職員〕

項 目	6年度 期 末	7年度		7年度 期 末	摘 要
		増	減		
役 員	12	—	1	11	うち常勤理事1名
理 事	10	—	1	9	
監 事	2	—	—	2	
職 員	51	6	5	52	

事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。